

日 時：平成24年1月21日（土）18：00～ 場 所：かでの2・7 310会議室

出席者：田中(PT1期)、新開谷(PT1期)、中村(PT2期)、藤澤(PT3期)、坂口(PT4期)、  
中添(PT6期)、早瀬(PT7期)、杉田(PT9期)、田中(PT10期)、島内(PT11期)、  
打田(PT12期)、山崎(PT13期)、池田(OT1期)、篠田(OT1期)、南部(OT2期)、  
小山(OT3期)、高橋(OT5期)、岸(OT6期)、高橋(ST1期)、鹿野(ST1期) 以上、20名

**【議題】**

**1. 来年度活動内容について**

→5月は札幌でPOSそれぞれ行う予定とし、秋はPOSそれぞれ行うものの、場所は日本福祉リハ学院（恵庭）で揃って行うことは決定された。各学科の詳細については、近日、OT学術会議、PT学術会議を行い、2月中に詳細をさらに検討していく方向となった。  
また、3月中旬に役員・幹事会を行い、詳細決定と全体調整を行うことになった。  
学術局だけではスタッフ数足りない場合は、他局からもお手伝いすることとなった。  
卒業生全体に向けてアナウンスするためにFAXも検討していくこととなった。

**2. 学術局から来年度の研修会開催に向けての会議報告と検討**

1) OT学術 ⇒詳しくはOT学術会議議事録を参照（P2・3）

症例検討会を年3回計画、分野として「身障」と「精神」の2つを考えている。参加者はおよそ50名を予想している。

5月に行われる症例検討会の場所・分野・発表者・必要であれば司会（もしくはコメンテーター）・必要なスタッフ数・当日スケジュール・費用等の詳細については、近日行われるOT学術会議にて検討されることとなった。

2) PT学術 ⇒詳しくはPT学術会議議事録を参照（P4）

以前より症例検討会は行われていたが、来年度からは同窓会主催として行う予定。発表者がいない状況なので、新人教育プログラムの認定がもらえる卒後3年目を中心にアナウンスしていく予定。5月は、クラーク病院（駐車場チェック要）にて症例検討会を行う方向で決定。参加者はおよそ50名を予定。

5月に行われる症例検討会の分野・発表者・必要であれば司会（もしくはコメンテーター）・必要なスタッフ数・当日スケジュール・費用等の詳細については、近日行われるPT学術会議にて検討されることとなった。

3) ST学術

⇒来年度は、「嚥下」、「失行」の2つをテーマに、年2回（5月と10月）の研修会を、外部講師をお招きし開催を計画中。現在は、ST学科長の北風先生に講師の選択を依頼しており、2月中に決定したいと考えている。講師に対する謝礼と、札幌開催のため会場費がかかる予定。

文責 坂口（PT4期）

# 日本福祉リハビリテーション学院同窓会 学術局 (OT) 議事録

日時；平成23年11月8日(火) 19:00～22:30 日本福祉リハビリテーション学院

参加者；小山、小川、岸、相馬、池田(事務局)

欠席者；野畑、西窪

## 【議題】

### 1) 作業療法部門の研修会の方向性

- ・分野(身障・精神・老年期など)を考慮しながら、症例検討会を行っていく。
- ・症例検討会は、卒業生同士がお互いに意見交換することにより卒後教育の一環になることを目的とする。そのために、3年目くらいまでの卒業生でも発表しやすい機会を優先的に作り、3年目以降の卒業生でも症例を通して勉強になったことなどあれば発表できるように対応していく。また、学会や研修会などの予演会の場としても利用できるようにする。
- ・症例検討会や研修会に関する意見を1回目の開催後にアンケートにて調査する。
- ・症例検討会の他に、研修会を開催していく。
- ・症例検討会、研修会参加者には生涯教育制度の基礎ポイントを1ポイント付与する。発表者はさらに1ポイント加算する。(事例報告は確認する)

### 2) 今年度の活動予定

- ・時期も考え、今年度は次年度の活動が円滑に遂行できるように会議を開催し、次年度の準備を行っていく。

### 3) 来年度の活動予定

#### ① 症例発表会(年3回)

- ・時間：土曜日 15:00～
- ・場所：日本福祉リハビリテーション学院か協力可能な施設  
→恵庭は札幌から行きにくいという意見もあり検討していく  
→研修会に利用させてもらえる施設を募集する
- ・開催予定月  
第1回：5月 分野を問わず募集・依頼を行う。終了後にアンケートを実施。  
開校以来、学科としては初めての試みなので、1回目は幹事の中から発表を行った方がよいのではないかとということになり、幹事の方に意見を聞き、検討していく  
第2回：9月 学会一月前に開催  
第3回：11月
- ・1回の開催で2例以上の症例発表ができるように調整していく

#### ② 研修会

- ・7月開催予定

- ・内容は検討中だが、坂上先生に講師を依頼し、臨床実習に関して実習指導者側と学校側の意見交換の場になるような研修を予定中。

※ 上記内容を OT 幹事に確認してもらい、再度、意見集約を行う。

#### 4) 次回検討事項

- ・症例検討会の発表者の募集・依頼方法
- ・症例検討会や研修会に関する案内方法（HP だけでよいか？）

\* 次回会議開催予定 \* 1月の同窓会幹事会が始まる前の時間に行う

文責 池田（OT1 期）

## 日本福祉リハ学院 PT 同窓会学術局会議 議事録

開催日時・場所：H23年11月7日(月)19時～20時半、クラーク病院会議室

会議メンバー：P5 木原、P6 中添、P8 中園、P9 杉田、P12 打田、P13 山崎

### 議題1：来年度のPT症例検討会について

#### ① 症例検討会実施状況 (H23年度)

- ・現在、12期生中心に実施していて、20人くらいで行っている。
- ・昨年から発表者が集まらず実施できないことが多く、委員が発表していることが多い。
- ・3年目以降じゃないと新プロの単位がもらえないことや、場所が遠いこと、日程が合わないなどのため発表者を募りづらい。
- ・新プロを終了している先輩などにメリットが無いため先輩を誘いづらい。
- ・単位申請の手続きが2週間前までなので発表者もなかなか決まらない現状では毎月の実施は厳しい。
- ・発表、質疑応答の時間が長く設定されすぎていて間延びしてしまうことがある。

#### ② 今後のPT同窓会学術役員に関わりかた(案)

- ・現在向井先生に先導していただいているところを同窓会学術役員主体で運営、進行を行っていく。
- ・学術役員以外に各学年に症例検討委員を1名選出し一緒に運営や進行などを行っていく。

#### (役員以外の委員の実働に関する会議費や交通費の支給については役員会で検討)

- ・各開催時には学術委員を必ず数名配置する。これに関しては発表内容で分野別(整形、中枢など)に配置する考え。(未定)
- ・次年度初めまでに発表者の選出、日程、場所、役員の配置などを全て決めて進めていく。

#### ③ 来年度の症例検討会について

- ・5月、7月、10月の年3回の実施にして、1回につき最大3症例の発表(発表10分、質疑応答20分)。15:00～17:00で行う。
- ・5月の発表に関してはクラーク病院にて開催、7月と10月は日福で開催し毎回アンケートを実施して場所や症例検討会に対する考えなどの意見をもらい次年度に向けて役員で検討する。
- ・新プロが終了している先輩方にも参加のメリットがあるように良い方法を検討して参加者の学年の幅を広げる。
- ・症例検討会の開催日程や場所を多くの卒業生に伝わるようにメーリングリストやHPを使い早めに知らせる(可能ならば症例の内容も)

### 議題2：来年度PT同窓会主催の研修会について

#### ① 開催時期

- ・来年度秋～冬に開催予定。(日程、内容、講師の依頼の関係で年度後半にする予定)

#### ② 開催内容

- ・未定(12月末までに学術委員の企画を募集。1月～3月の間に会議を開催し決定する)

記載者 PT9期生 杉田